

精度管理アンケート

精度管理事業部長：鈴木 博子

(春日井市民病院：TEL:0568-57-0057)

実務担当者：佐野 俊一（愛知医科大学メディカルクリニック）

寺田 達夫（愛知医科大学メディカルクリニック）

平田 弘美（増子記念病院）

杉山 宗平（安城更生病院）

蜂須賀靖宏（安城更生病院）

I. はじめに

本年度の精度管理調査は、日本臨床衛生検査技師会精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）を利用し、実施時期、実施内容等の大幅な変更は行わず実施した。また、昨年度と同様、精度管理調査と同時にアンケートを実施し、参加施設から貴重な意見を頂いた。次年度以降の事業展開へ反映させるべく、以下に集計結果と回答を示す。なお、ご意見、ご要望で重複した内容については割愛した。

II. 調査方法

精度管理試料送付時にアンケート用紙を同梱し、回答を求めた。また、部門別アンケートはJAMTQCでアンケート設問を設定し回答を求めた。

1. 技師長クラスの方に対して本精度管理調査についての案内の内容や申し込み方法、結果検討会と精度管理報告会の実施時期および事業全般に対する意見や要望を調査した。
2. サンプルサーベイ部門について、項目数、試料の量に関する設問2題を調査した。
3. フォトサーベイ部門について、設問量、難易度、設問内容に関する設問3題を調査した。
4. 評価対象外設問を出題した部門について、設問量、難易度、設問内容、評価対象外設問の必要性に関する設問4題を調査した。
5. JAMTQCシステムの使用方法、操作性、昨年と比較しての感想に関する設問3題を調査した。

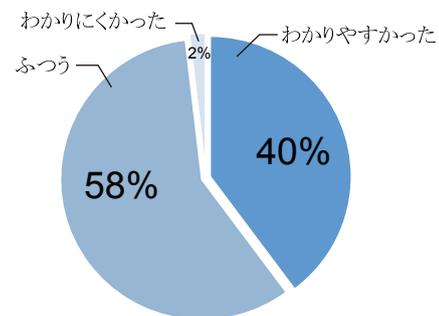
調査対象施設

アンケート調査は、平成26年度愛臨技精度管理調査に参加した108施設を対象とした。

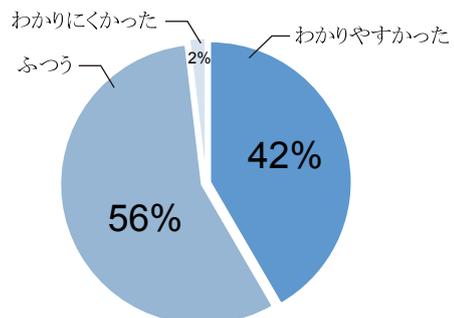
III. 集計結果と意見、要望

1. 愛臨技精度管理全般

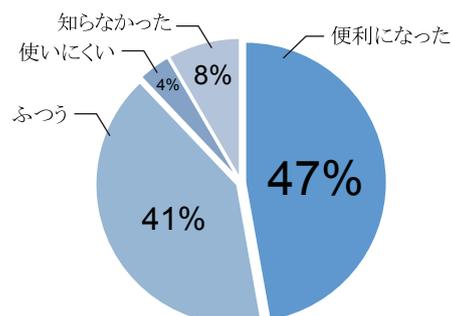
1) 精度管理実施要領（案内）の内容について



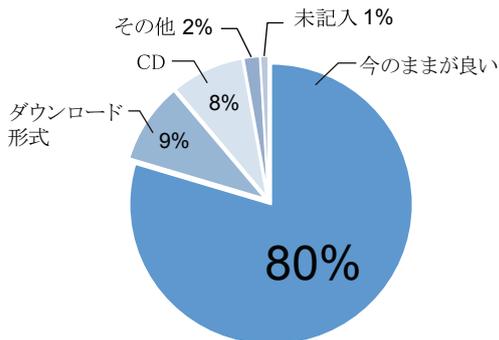
2) JAMTQCを利用したWeb申込みについて



3) 本年度よりJAMTQCのWebから、見積書、請求書、納品書、参加証が印刷可能になったこと



4) 総括集について（例年印刷物として配布）

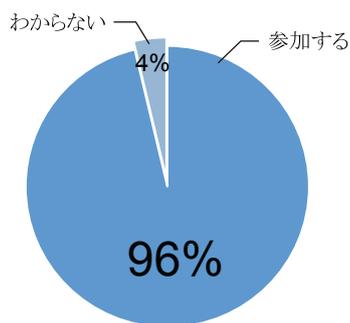


5) 送付物の到着時間について（発送翌日 午前必着で配送）

	施設への到着時間	検査室への到着時間
8:30～9:00	5	5
9:01～9:30	11	12
9:31～10:00	10	9
10:01～10:30	21	26
10:31～11:00	25	25
11:01～11:30	18	18
11:31～12:00	5	5
12:01～12:30	2	2
12:31～13:00	2	2
未記入	9	4
合計	108	108

内訳(施設数)

6) 次年度も本精度管理調査に参加していただけますか



7) 事業全般に対する意見、要望など

【意見】

- ・いつも大変なご尽力をいただきありがとうございます。
- ・毎年多項目にわたりご苦労様です。集計、解析、サポート、報告会と頑張ってください。
- ・事前にメール配信をいただいたため、周知に大変役立ちました。来年もお願いします。
- ・1年間かけての作業、大変お疲れ様です。一人でも多く結果報告会に参加して頂くことを望みます。

- ・準備段取り等大変だと思います。ありがとうございます。
- ・結果検討会は非常に重要で、愛知県全体のレベルアップに貢献していると思うので、継続実施して頂きたい。
- ・昨年も同様であったが、生理検査のCDRが検査科のパソコンで再生できなくて不便であった。
- ・手引書がいつ発表されるかが事前にメールしてもらえたのでありがたかった。
- ・細菌検査を外注しており、ICTとして知識が必要であるため、微生物フォトサーベイのみ参加希望しましたが、参加不可の回答であった。
- ・メーカーごと機器ごとの結果報告でないためシェアの高いメーカーの影響が強く施設数の少ない機器の評価が悪くなってしまふことは困る。
- ・血液フォトサーベイの画像が悪く判断に苦慮した。
- ・毎回、愛臨技か日臨技のホームページのどちらかから入力するのか迷うため、募集要項にWEB版のアドレスを表示するか愛臨技ホームページから日臨技ホームページへのリンクがあるとわかりやすい。
- ・日臨技サーベイとの違い、愛臨技サーベイ参加の有益性を明確にしていきたい
- ・JAMTQCでの申し込み時期がわかりにくかった。

【要望】

- ・最初の封筒にて案内があるとありがたい。
- ・院内のネット環境により結果入力をUSB希望します。
- ・月の前半は業務が多忙のため、実施時期を月の後半にしていただけると幸い。
- ・振込用紙を送ってほしい。（振込を忘れてしまう）
- ・実施時期を10月頃にしてほしい。
- ・送付を8月中の月曜日以外にしてほしい。
- ・Webからの見積書、請求書は参加確定後、もっと早く印刷可能にしてほしい。
- ・検体の到着時間が午後配送であるとよい。（午前中は忙しい為、精度管理ができない）
- ・医師会の検査項目にあるものと日臨技のセット項目に含めないでほしい。

【質問】

- ・集計について 県医師会で行っているということはありませんか？
- 技師会と医師会と主催団体が異なるため、集計は各々で実施している。
- ・発送用の発泡スチロール容器はリユースできないか？
- 再利用するには、各施設から発送してもらう必要がある。送料と新規購入料があまり変わらないため、再利用は考えていない。また、衛生面からも再利用は考えていない。
- ・医師会サーベイにも参加しています。今年は項目が重複しないように技師会サーベイに申込みをしましたが、一般検査の便へモとフォトサーベイが医師会サーベイにはなく参加できませんでした。来年度は一般検査を

申込みすればいいのでしょうか？

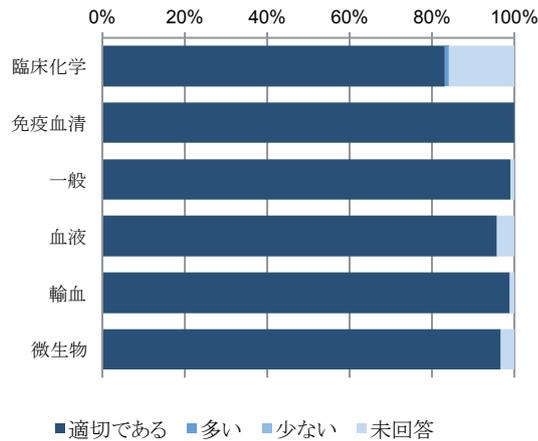
→他の検査所はそうしているところもある。来年は是非参加して欲しい。

・輸血部門の『記録簿』とはどのような書式のものを指しているのか教えていただきたい。

→各施設で検査を実施する時に使用しているワークシート、伝票、抗原表などを指すが、不明な場合は問い合わせ先に問い合わせをするなどの対応をお願いしたい。

2. サンプルサーベイ部門

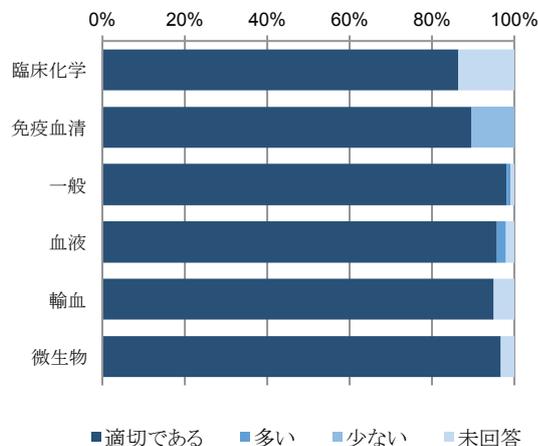
1) 測定項目数について



	適切	多い	少ない	未回答
臨床化学	83.0	1.0	0.0	16.0
免疫血清	100.0	0.0	0.0	0.0
一般	99.0	0.0	0.0	1.0
血液	95.7	0.0	0.0	4.3
輸血	98.8	0.0	0.0	1.2
微生物	96.7	0.0	0.0	3.3

内訳(%)

2) 試料の量について



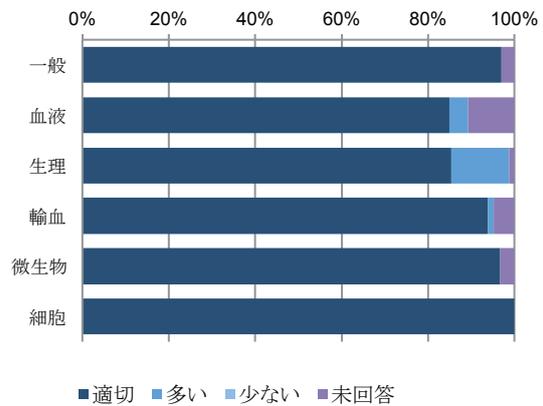
■適切である ■多い ■少ない ■未回答

	適切	多い	少ない	未回答
臨床化学	86.4	0.0	0.0	13.6
免疫血清	89.5	0.0	10.5	0.0
一般	97.9	1.0	0.0	1.0
血液	94.6	2.2	0.0	3.2
輸血	95.0	0.0	0.0	5.0
微生物	96.7	0.0	0.0	3.3

内訳(%)

3. フォトサーベイ部門

1) 設問の量について

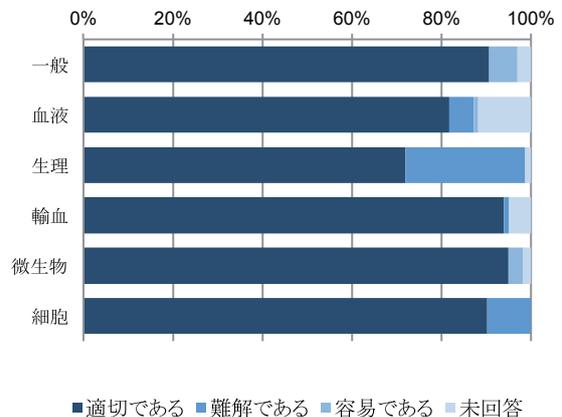


■適切 ■多い ■少ない ■未回答

	適切	多い	少ない	未回答
一般	96.9	0.0	0.0	3.1
血液	84.9	4.3	0.0	10.8
生理	85.3	13.3	0.0	1.3
輸血	93.9	1.2	0.0	4.9
微生物	96.7	0.0	0.0	3.3
細胞	100.0	0.0	0.0	0.0

内訳(%)

2) 設問の難易度について

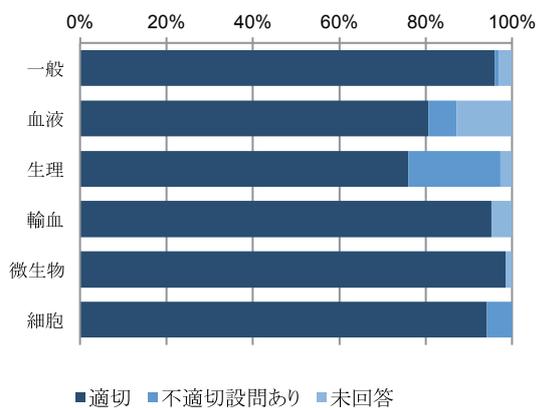


■適切である ■難解である ■容易である ■未回答

	適切	難解	容易	未回答
一般	90.6	0.0	6.3	3.1
血液	81.7	5.4	1.1	11.8
生理	72	26.7	0.0	1.3
輸血	93.9	1.2	0.0	4.9
微生物	95	0.0	3.3	1.7
細胞	90.2	9.8	0.0	0.0

内訳(%)

3) 設問の内容について

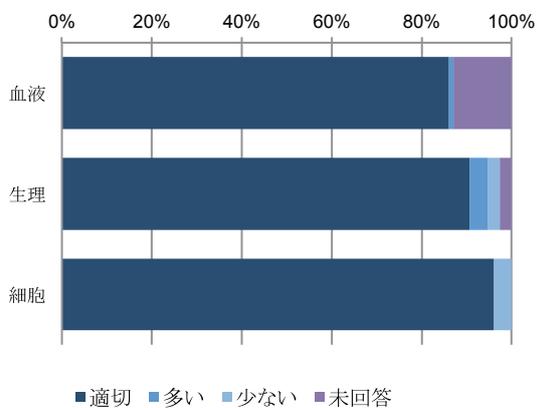


	適切	不適切設問あり	未回答
一般	95.8	1.0	3.1
血液	80.6	6.5	12.9
生理	76.0	21.3	2.7
輸血	95.1	0.0	4.9
微生物	98.4	0.0	1.6
細胞	94.2	5.8	0.0

内訳(%)

4. 評価対象外設問

1) 設問の量について

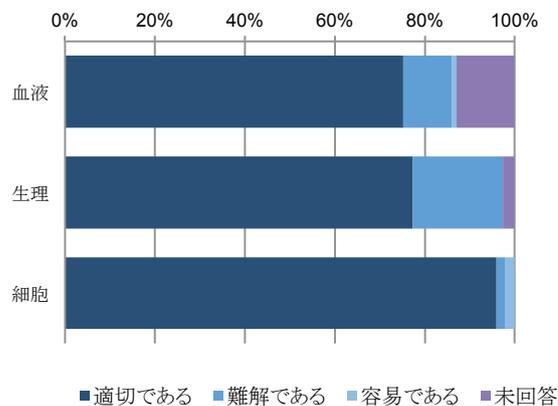


■適切 ■多い ■少ない ■未回答

	適切	多い	少ない	未回答
血液	86	1.1	0.0	12.9
生理	90.7	4	2.7	2.7
細胞	96.1	0.0	3.9	0.0

内訳(%)

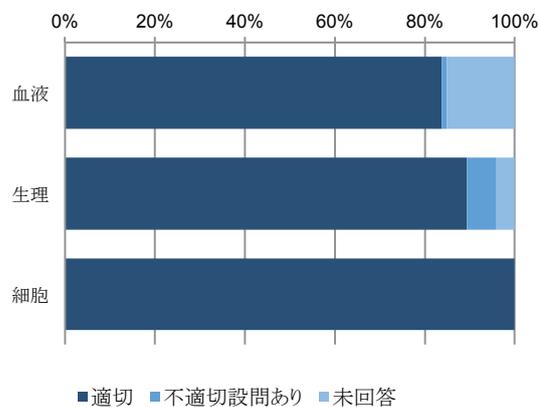
2) 設問の難易度について



	適切	難解	容易	未回答
血液	75.3	10.8	1.1	12.9
生理	77.3	20.0	0.0	2.7
細胞	96.0	2.0	2.0	0.0

内訳(%)

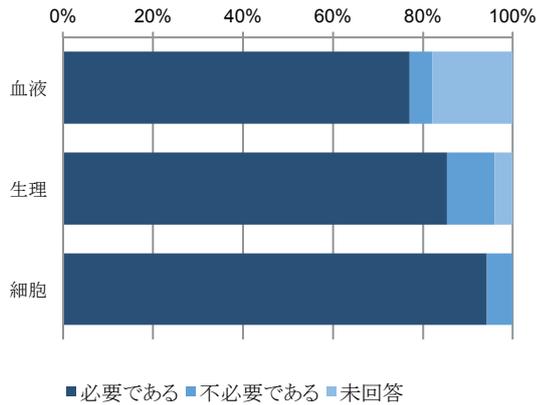
3) 設問の内容について



	適切	不適切設問あり	未回答
血液	83.9	1.1	15.1
生理	89.3	6.7	4.0
細胞	100.0	0.0	0.0

内訳(%)

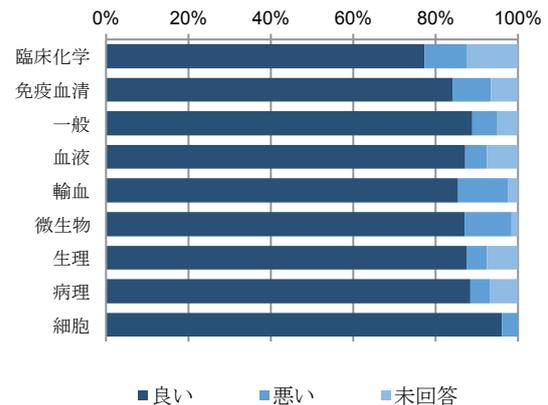
4) 評価対象外設問の必要性について



	必要である	不必要である	未回答
血液	77.0	5.0	18.0
生理	85.3	10.7	4.0
細胞	94.2	5.8	0.0

内訳(%)

2) システムの操作性について

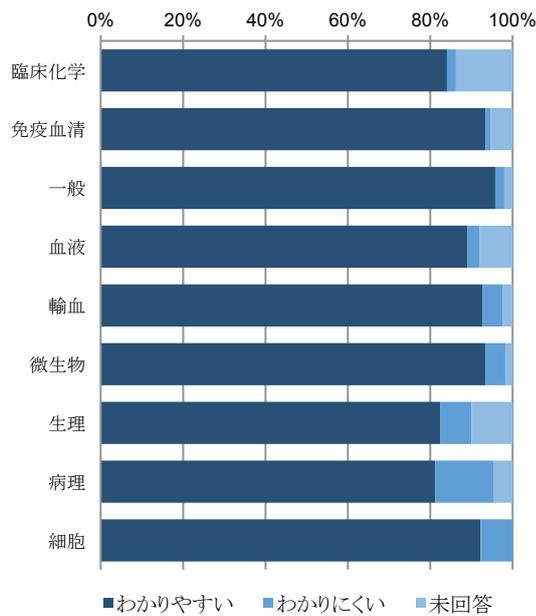


	良い	悪い	未回答
臨床化学	77.3	10.2	12.5
免疫血清	84.2	9.2	6.6
一般	88.8	6.1	5.1
血液	87.2	5.3	7.5
輸血	85.4	12.2	2.4
微生物	86.9	11.5	1.6
生理	87.5	5.0	7.5
病理	88.4	4.6	7.0
細胞	96.1	3.9	0.0

内訳(%)

5. JAMTQCシステム

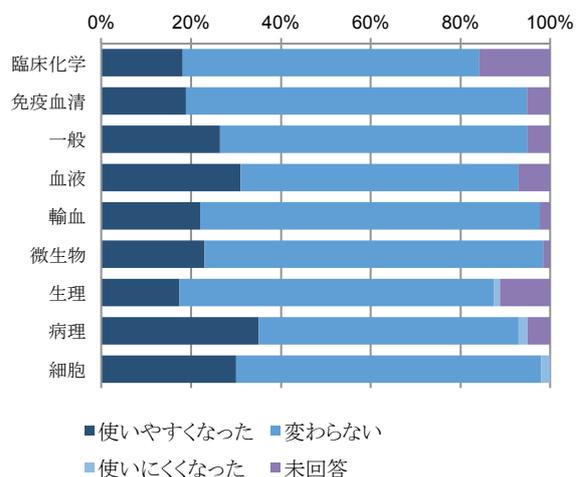
1) システムの使用方法について



	わかりやすい	わかりにくい	未回答
臨床化学	84.0	2.3	13.7
免疫血清	93.4	1.3	5.3
一般	95.8	2.1	2.1
血液	89.0	3.0	8.0
輸血	92.7	4.9	2.4
微生物	93.4	4.9	1.7
生理	82.5	7.5	10.0
病理	81.3	14	4.7
細胞	92.2	7.8	0.0

内訳(%)

3) 昨年と比較した本年度システムの使いやすさ



	使いやすくなった	変わらない	使いにくくなった	未回答
臨床化学	18.2	66.0	0.0	15.8
免疫血清	18.9	75.9	0.0	5.2
一般	26.5	68.4	0.0	5.1
血液	31.0	62.0	0.0	7.0
輸血	22.0	75.6	0.0	2.4
微生物	23.0	75.4	0.0	1.6
生理	17.5	70.0	1.3	11.2
病理	35.0	58.0	2.0	5.0
細胞	30.0	68.0	2.0	0.0

内訳(%)

IV. まとめ

本年度も多忙の中、多くの参加施設に各種アンケートに協力して頂いた。今回実施したアンケートの集計結果から、以下の通り総括した。

1. 本調査の精度管理実施要領（案内）の内容については、98%の施設がわかりやすかった、または、普通と回答しており残り2%の施設がわかりにくかったと回答している。精度管理事業部としては、精度管理実施要領（案内）の作成時には、大きな問題はないと考えている。

2. JAMTQCを利用したWeb申込みについては、98%の施設がわかりやすかった、または、普通と回答。残り2%がわかりにくかったと回答している。わかりにくかった内訳としては、システムエラーで申し込みができなかった。日臨技のホームページから入っていくのはわかりにくかった。操作手順が煩雑という内容であった。申込み手順案内作成など、次年度以降の課題としたい。

3. 本年度よりJAMTQCのWebから、見積書、請求書、納品書、参加証が印刷できるようになった。このことについては、88%の施設がわかりやすかった、または、普通と回答しており4%の施設がわかりにくかった、8%の施設が知らなかったと回答していた。参加施設の担当者あてにメールでお知らせしていたが、次年度以降もメール配信を継続して周知を徹底していきたい。

4. 総括集については、80%の施設が今のままでよいと回答した。他の意見は、ダウンロード可能時期がわかればダウンロードがよい、印刷物&ダウンロードの両方がよいとの意見があった。参加施設の意見を参考にして、次年度以降の検討課題としたい。

5. 午前中指定の送付物の到着時間については、全施設8時30分から13時までには到着しており、9時31分から11時30分が最も多い到着時間であった。午前中の多忙な時

間に、検体が到着しているため、到着時間の変更も検討課題としたいが、温度管理が測定値に影響を及ぼす可能性のある試料も含まれているため、ご理解を頂ければ幸いである。

6. 次年度の本精度管理調査の参加については、96%の施設が参加すると回答しており、4%の施設がわからないと回答していた。わからないと回答した施設の中に、参加費を個人負担しているためとの理由があった。

7. サンプルサーベイ部門では、測定項目数、試料の量についてアンケートを実施した。

1) 測定項目数について

98%以上が適切と回答しており、多い、少ないといった意見はなかった。

2) 試料の量について

免疫血清部門で10.5%の施設が少ないと回答したが、他部門の90%以上の施設が適切と回答している。

8. フォトサーベイ部門では、設問の量、設問の難易度、設問の内容についてアンケートを実施した。

1) 設問の量について

血液、生理部門で80%以上、他部門の90%以上の施設が適切と回答しており、生理部門の13%の施設が多いと回答していた。

2) 設問の難易度について

生理部門で26%の施設が難解と回答しており、他部門の80%以上が適切と回答していた。

3) 設問の内容について

生理部門で21%の施設が不適切だと感じた項目があると回答しており、他部門の80%以上が適切と回答していた。次年度の生理の設問難易度、内容には検討が必要と考えられる。

9. 評価対象外設問では、設問の量、設問の難易度、設問の内容、評価対象外設問の必要性についてアンケート

を実施した。

1) 設問の量について

血液、生理、細胞部門の86%以上の施設が適切と回答していた。

2) 設問の難易度について

血液、生理、細胞部門の75%以上の施設が適切と回答しており。生理部門の20%の施設が難解であったと回答していた。

3) 設問の内容について

血液、生理、細胞部門の83%以上の施設が適切と回答していた。

4) 評価対象外設問の必要性について

血液、生理、細胞部門の77%以上の施設が適切と回答しており。生理部門の10%の施設が不必要であると回答していた。評価対象外設問の出題に関して、検討が必要と考えられる。

10. JAMTQCシステムでは、システムの使用法、操作性、昨年と比較しての本年度システムの意見についてアンケートを実施した。

1) システムの使用法について

全部門の80%以上の施設でわかりやすかったと回答していた。病理部門の14%の施設がわかりにくいと回答していた。

2) システムの操作性について

全部門の77%以上の施設で操作性は良いと回答。臨床化学部門の10%、輸血部門の12%、微生物部門の11%の施設で操作性は悪いと回答していた。本年度もシステムへの移行が影響を及ぼしていると考えられる。

3) 昨年と比較した本年度システムの使いやすさ

全部門の58%以上の施設が変わらなると回答しており、全部門の17~35%の施設が使いやすくなったと回答していた。

JAMTQCシステムへの移行後2年目になり、システム運用に関しては多くの施設に受け入れられてきたと思われる。アンケート調査でいただいたご意見については、真摯に受け止め、次年度の検討課題とさせていただきます、より使いやすいシステムの構築に部員全員で取り組んでいきたいと考えている。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。